

新報国製鉄は、研究開発体制を拡充した。耐塩素合金や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形金剛用合金など新素材の製品化を加速するのが狙い。

合金の成分分析を効率化する誘導結合プラズマ（ICP）分析装置や、鋳造金型内の流動を解析するシミュレーション技術を導入。人材面では過去3年で博士・修士を3人採用し、1人を大学院の社会人博士課程に入学させるなど専門家の育成を急ぐ。

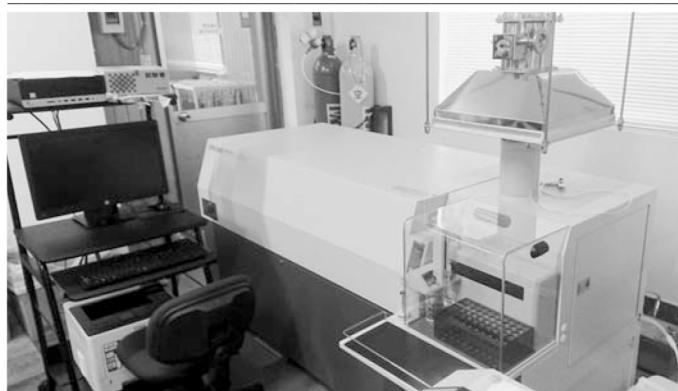
新報国製鉄は低熱膨張合金の製造が主力。熱膨張率係数が1度C当たり0・1mm（1ppm）という「ゼロ熱膨張」は100万分の1）以下といふ開発力を誇る。ただ、半導体・液晶製

新報国製鉄

研究開発体制を拡充 装置など導入 新素材の製品化加速

ICP分析

新素材の製品化加速



新報国製鉄
装置など導入
新素材の製品化加速

新報国製鉄は、研究開発体制を拡充した。耐塩素合金や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形金剛用合金など新素材の製品化を加速するのが狙い。

合金の成分分析を効率化する誘導結合プラズマ（ICP）分析装置や、鋳造金型内の流動を解析するシミュレーション技術を導入。人材面では過去3年で博士・修士を3人採用し、1人を大学院の社会人博士課程に入学させるなど専門家の育成を急ぐ。

新報国製鉄は、研究開発体制を拡充した。耐塩素合金や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形金剛用合金など新素材の製品化を加速するのが狙い。

新報国製鉄は、研究開発体制を拡充した。耐塩素合金や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形金剛用合金など新素材の製品化を加速するのが狙い。

新報国製鉄は、研究開発体制を拡充した。耐塩素合金や、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の成形金剛用合金など新素材の製品化を加速のが